

スペシャルすまいる

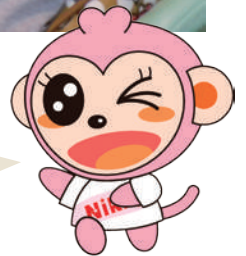
No. **71**
2023
October
NIKKO City Council of
Social Welfare

Public Relations Magazine "SPECIAL SMILE" of Nikko-Shakyo



～介護支援ボランティア～

ボランティアさんが、介護支援施設にてレクリエーションのお手伝いをしている様子です。
ただいま、介護支援ボランティア登録者を募集しています！（詳細は本紙5ページをご覧ください）



CONTENTS

- 令和4年度事業報告・決算 2ページ
- 令和5年度事業計画・予算 3ページ
- 災害シミュレーション事業について 4ページ
- 介護支援ボランティアについて 5ページ
- みんなが出会い、つながる「地域の居場所」 6ページ
- 日赤社資・寄附報告、共同募金のお願い、
介護職員募集、スマイル日光プロジェクト 7ページ
- 新規採用職員紹介 8ページ



この広報誌の発行には、みなさまからご協力いただきました赤い羽根共同募金の配分金が使用されています。

令和4年度 事業報告

■新規事業

- 生活困窮者自立相談支援事業
- ガス商業協同組合との地域見守り活動事業

■実施した主な事業

1. 活動を支える

(住民主体の理念に基づく新たな地域コミュニティづくりを進めます。)

- ①第3期日光市地域福祉活動計画の推進
- ②にっこう福祉のまちづくり推進委員会の運営支援
- ③地域福祉推進事業 他11事業

2. 担い手を育てる

(多様な人や機関などが地域活動に参加しやすい環境づくりを進めます。)

- ①介護支援ボランティア事業(受託事業)
- ②災害ボランティアセンター運営連絡会開催事業
- ③福祉講師派遣事業 他2事業

3. 生活を支える

(地域にとって身近な小地域での総合相談・生活支援体制づくりを進めます。)

- ①生活支援体制整備事業(受託事業)
- ②生活困窮者自立相談支援事業(受託事業)
- ③ガス商業協同組合との地域見守り活動事業

- ④地域包括支援センター運営事業(受託事業)

- ⑤訪問介護、通所介護、居宅介護支援事業

- ⑥法人後見事業

- ⑦日常生活自立支援事業(受託事業) 他16事業

4. 仕組みを創る

(日光らしさを活かした新たな課題解決のための取り組みに挑戦します。)

- ①社会福祉法人の「地域における公益的な活動」推進事業
- ②まちの縁側事業(今市モデル)の実施
- ③多様な連携・協働育み事業 他2事業

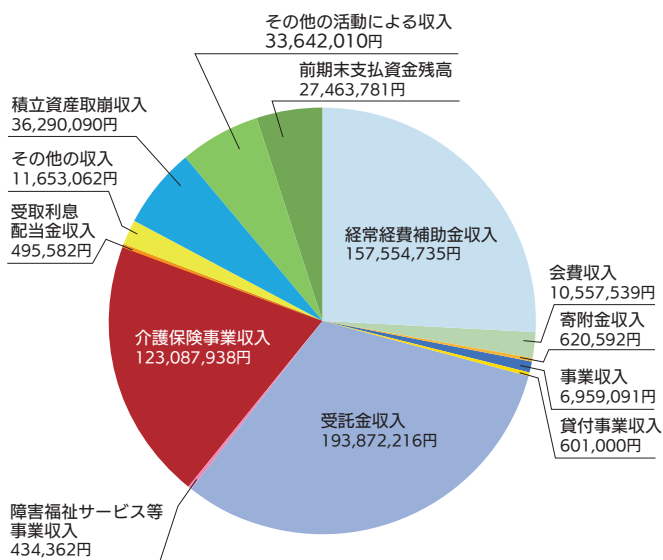
5. 組織を支える

(地域社会から信頼される組織を目指して経営管理体制の強化に努めます。)

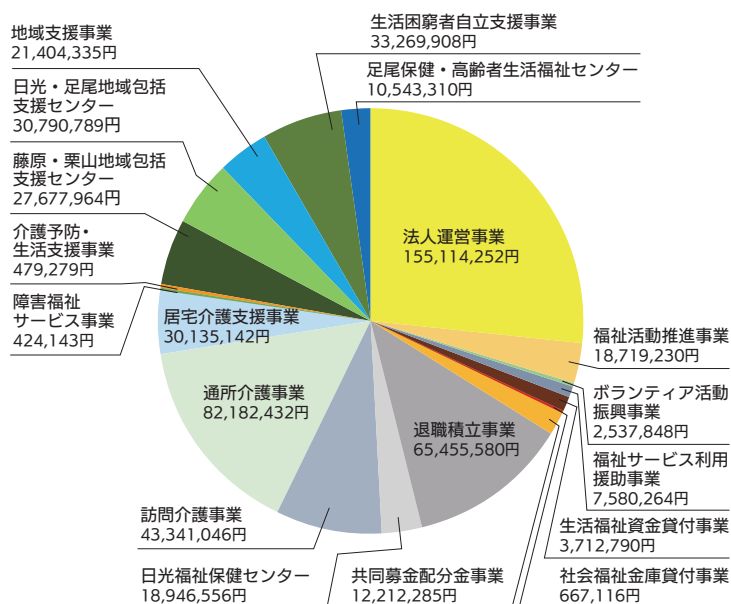
- ①第2次日光市社協総合推進計画の推進
- ②福祉のまちづくり基金の適正な運用
- ③災害ボランティア活動支援基金の適正な運用 他1事業

令和4年度決算

収入 603,231,998円



支出 565,194,269円



令和5年度 事業計画

■基本方針

市区町村社協は、複合化・多様化した地域生活課題の対応に向けて、地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉法人・福祉施設、NPO、企業、さらには福祉以外の分野も含む幅広い関係者が、めざす地域の姿を共有し、それぞれの力を発揮することで地域福祉が推進されるよう、「連携・協働の場」の創出・活性化に取り組む必要があります。これまでの実績と特性を活かし、協働の中核を担うとともに、セーフティネットの役割を果たせるよう、経営基盤を強化することが求められています。

本会は、「地域住民」「社会福祉を目的とする事業を経営する者」「社会福祉に関する活動を行う者」が参加する公益性の高い非営利・民間の福祉団体として、以下の基本方針により経営を行います。

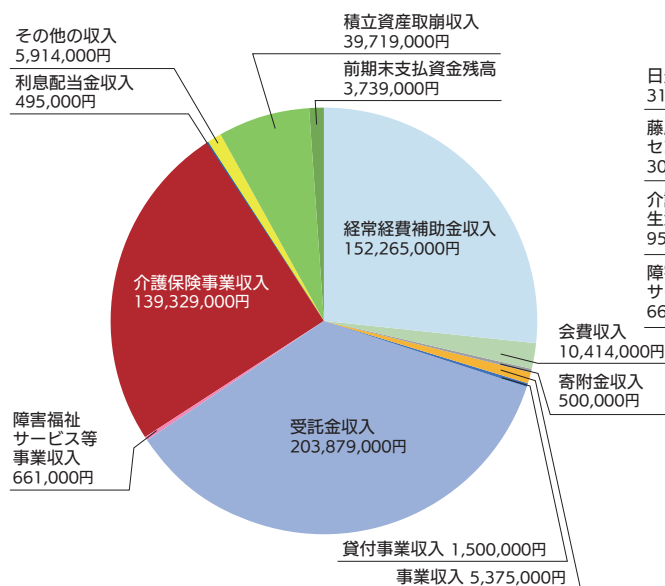
1. 地域に開かれた組織として、経営の透明性と中立性、公正さの確保を図るとともに、情報公開や説明責任を果たし、地域社会の支持・信頼を得られるよう、積極的な情報発信を図ります。
2. 事業の展開にあたって、「連携・協働の場」（プラットフォーム）としての役割を十分に発揮し、地域住民や関係機関・団体等、あらゆる関係者の参加と協働の徹底を図ります。
3. 事業の効果測定やコスト把握等の事業評価を適切に行い、効果的で効率的な自律した経営を目指します。
4. すべての役職員は、高潔な倫理を保持し、法令を遵守します。

■活動目標

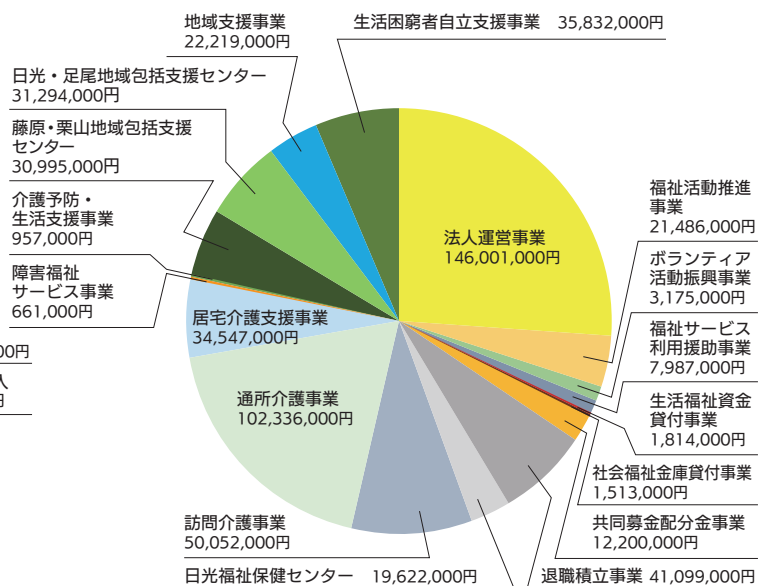
1. 住民主体の理念に基づく新たなコミュニティづくりをすすめます。
2. 多様な人や機関などが地域活動に参加しやすい環境づくりをすすめます。
3. 地域にとって身近な小地域での相談・生活支援体制づくりをすすめます。
4. 日光らしさを活かした新たな課題解決のための取り組みに挑戦します。
5. 地域社会から信頼される組織をめざして経営管理体制の強化に努めます。

令和5年度予算

収入 563,790,000円



支出 563,790,000円



「災害シミュレーション事業」を実施しました!



去る令和5年3月19日に日光市災害ボランティアセンター運営連絡会※1の主催で、豊岡公民館にて「災害シミュレーション事業」を実施しました。民生児童委員をはじめ、26名の方が参加しました。この事業は「日光市災害ボランティアの日」※2の普及啓発活動の一環として、災害に対する平常時の備えや地域防災の大切さ、災害ボランティアの必要性とそのスキルを市民全体に広めることで、防災意識の高揚と地域防災力の向上を図ることを目的としています。

当日は、災害が起きた設定のもと、避難所運営ゲーム(HUG)※3、炊き出し訓練を行い、避難所を運営するうえで取り組むべきことを学びました。

参加者からは「有事の際に何が必要で、何をしなければならぬかを事前を知ることができました。」「限られた食材で調理するための対応力が身につきました。」などといった声が聞かれ、地域防災の大切さや支え合いの重要性を再確認する機会となりました。



日光市社会福祉協議会
イメージキャラクター「ニッキー」

※1日光市災害ボランティアセンター運営連絡会とは?

災害ボランティアセンター連絡会は、日光青年会議所、行政、社協の三者で構成されています。災害時には災害ボランティアセンターの運営の他、被災市町村の災害ボランティアセンターの立ち上げ・運営支援や県内全体のボランティア活動情報の収集・発信、電話相談などボランティア活動希望者への支援等の役割を担います。平常時には、災害ボランティア活動の普及、啓発に関する事業等を行っております。

※2「日光市災害ボランティアの日」とは?

東日本大震災が発生した年である2011年(平成23年)の3月23日、被災地支援のため日光市において初めて災害ボランティアセンターが設立されました。その時のことを忘れずに覚えておくために、(日光市災害ボランティアセンター運営連絡会では)3月23日を「日光市災害ボランティアの日」と決めました。

過去の災害に心を寄せながらご自身の災害への備えを見直す日としましょう!

※3避難所運営ゲーム(HUG)とは?

避難所運営ゲームは、机上で行う体験型シミュレーションゲームで、避難者カード、避難所の図面、敷地の図面などの道具を使用します。チームを組んで実際に避難所を運営する立場になって、さまざまな課題を想定してクリアするための対処法を考えます。

「Hinanzyo Unei Game(避難所運営ゲーム)の頭文字をとって「HUG」となっています。

「ハグ」には「抱きしめる」という意味もあるので「避難者を優しく受け入れる」という意味合いも含まれています。



介護支援ボランティア



事業紹介

介護支援ボランティア制度は、65歳以上の元気な高齢者の皆さんが市内の介護保険施設でボランティア活動を行うことで、ご自身の健康維持、介護予防につなげることを目的としています。

また、1時間程度の活動につきスタンプが1つ貯まり（1日最大2つまで）、貯まったスタンプの数に応じてポイントが付与され、1ポイント=100円で交付金を申請（年1回、最大50ポイントまで）できます。現在、約170名の方が介護支援ボランティアとして登録・活動しています。

ボランティア登録

♠スタンプを貯める手帳を交付します

施設等と調整

♥自分を活かせる活動を決めます

スタンプが貯まる

♣目に見える成果が生きがいにも繋がります

ボランティア活動

◆地域貢献で自身の介護予防にもなります

活動の流れ



○レクリエーションのお手伝い

脳の活性化、コミュニケーション能力の低下の防止、身体機能の向上などに繋がります。これらの効果が高齢者の方の刺激となり、健康的な老後の生活を送りやすくなります。



○お話相手(傾聴)

相手の気持ちに寄り添い、お話の内容を否定せず、ありのままを受け止めて聴きます。会話には脳を刺激したり、ストレスの解消に効果があります。これは認知症の予防にもつながります。



○スタンプをもらう

活動が終わったら、最後に活動先のスタッフにスタンプを押してもらいます。

その他の活動内容

食事の配膳・下膳、買い物の手伝い、草刈り、手芸、洗濯物の整理・シーツ交換、特技披露(マジック、楽器演奏など)、囲碁・将棋の相手など

ボランティアさん インタビュー

親が他界したとき、もっと大事にしてあげられればという後悔がボランティア登録をするきっかけになりました。利用者さんの嬉しそうな顔を見ることや、「またきてね」と言われることにやりがいを感じています。毎日元気に過ごす原動力になっています。



(渡辺 久子さん)

施設長さん インタビュー

施設のスタッフだけではできないことに限りがあります。ボランティアさんがきてくれることによって普段できないことができるようになり、活動の幅も広がるので助かっています。利用者さんの笑顔も増え、活気のある温かい雰囲気づくりに繋がっています。



(ウエーブデイサービスセンター 見目 悦子さん)

ボランティア登録者募集中

- ★対象者 市内在住の65歳以上の方で要介護認定を受けていない元気な方
- ★活動内容 市内の福祉施設等で、趣味や特技を活かした活動をしていただきます
まずはお気軽にお問い合わせください

申込み問合せ 日光市社会福祉協議会 地域支援係 0288-25-3070



事業の詳細はこちら

～みんなが出会い、つながる「地域の居場所」～

コロナ禍が落ち着いてきたことで、地域の居場所（集いの場）の活動もまた活力が戻ってきました。今回は、市内で新たに立ち上がった地域の居場所をご紹介します。

今市：東町サロン

- ◇開催日：毎月第2・第4木曜日
- ◇開催場所：東町公民館
- ◇活動内容：日光ちょきんアップ体操



昨年11月からスタート。自治会の住民8名程が集い、みんなで健康体操に取り組んでいます。

藤原：上滝さくらの会

- ◇開催日：毎月第1・第3火曜日
- ◇開催場所：鬼怒川オートキャンプ場
- ◇活動内容：日光ちょきんアップ体操



今年3月からスタート。キャンプ場の東屋を借りて、開放的な空間でのびのび活動しています。

藤原：アイリス（長寿）の会

- ◇開催日：体操（月3回）、交流会（月1回）
- ◇開催場所：鬼怒川温泉マンション
- ◇活動内容：日光ちょきんアップ体操、交流会



今年4月からスタート。健康体操の他、月に1度交流会を行い、住民同士の親睦を深めています。

日光：相生町サロン

- ◇開催日：毎月第3火曜日
- ◇開催場所：相生町公民館
- ◇活動内容：日光ちょきんアップ体操



今年5月からスタート。毎回10名程が集まり、体操を通じて健康増進を図っています。

「『地域の居場所』を作りたい!」と思ったら?

地域の集いの場には、さまざまな成り立ちや運営方法があり、決まった形はありません。人が集い、つながる場所であれば、そこは立派な「居場所」です。日光市では、市・社協で『地域の居場所』ガイドブックを発行しています。

【居場所作りのポイント】（ガイドブックより抜粋）

- ①仲間を集めましょう。
- ②どんな「居場所」にするか、みんなで話し合しましょう。
- ③集まりやすい日（開催日）を決めましょう。
- ④集まる場所を決めましょう。
- ⑤運営の費用について考えましょう。



社協の「生活支援コーディネーター」と一緒に考えます！お気軽にご相談ください。

（居場所作りに関するご相談等：各支所または本所・地域支援係/ガイドブックに関するお問合せ：本所・地域支援係）

— お礼とご報告 —

日本赤十字社活動資金

募集期間：令和5年5月1日～5月31日

8月末日時点での総額は、

8,834,662円となりました。

お寄せいただきました活動資金は、日本赤十字社に全額送金し、災害や火災等で被災した方への災害救援物資の配布や被災者支援活動などに役立てられます。



ご協力ありがとうございました。

寄附報告

令和5年2月1日～5年7月31日

(一般寄附) 順不同・敬称略

取扱	寄附者名	金額 (円)
本所	高橋智子	300,000
今市	匿名	50,000
今市	栄町9班	5,815
日光	矢野美枝子絵手紙教室	12,370
今市	JAかみつが共済プラザ	30,000

(物品寄附) 順不同・敬称略

取扱	寄附者名	金額 (円)
本所	(株)ダイナム栃木今市店	食品等
本所	(株)東洋羽毛工業	マスク
本所	匿名	タオル、手ぬぐい

皆さまのお気持ちありがとうございます

— 募 集 —

介護職員募集(訪問介護員)

雇用形態▶会計年度任用職員(非正規)

募集人数▶1名(常勤)

資格要件▶介護初任者研修修了(旧ヘルパー2級)又はその上位資格(介護福祉士等)、普通自動車運転免許(AT限定可)

勤務予定地▶介護保険事業所ひかり(日光市花石町1942番地1)

給与条件▶171,800円

待遇等▶各種手当、社会保険加入、退職金制度あり、正職員登用制度あり等

勤務時間▶8:30～17:15

休日等▶土日祝、年末年始等

申込期間▶随時 ※採用者が決まり次第終了


提出書類▶履歴書、資格証(コピー可)、自動車運転免許証のコピー

申込問合せ▶総務企画係
(☎0288-25-3070)

その他▶詳細は、本会公式ホームページの採用情報をご覧ください。



— お知らせ —



地域課題に取り組む社会貢献団体の皆様に日光市内の企業が支援します!

寄付総額 ~50万円


スマイル日光プロジェクト 寄付先募集!!

▶申請期間：10月2日(月)～12月20日(水)

【寄付対象】 日光市内において以下の5つのテーマに沿った活動をされている社会貢献団体
(NPO 法人、市民活動団体、自治会などの非営利団体)

- ①生活困難者 (障がい者や貧困層支援)
- ②高齢者 (超高齢化社会への対応)
- ③子育て世代や青少年 (子どもの育成に対する支援)
- ④環境保全 (生活資源や観光資源の保全)
- ⑤災害 (復旧・復興活動、防災活動)

詳細はホームページをご確認ください。
<https://smilenikko.jimdofree.com>



申込み・問合せ先
スマイル日光プロジェクト事務局
(日光市森友 928-11 (株)成文社内)
tel.0288-21-0461 fax.0288-22-5256
E-mail : smilenikkoproject@gmail.com

10月1日より赤い羽根共同募金運動が始まります!



Art by nio © Crypton Future Media, INC. www.piapro.net

「赤い羽根共同募金」は、戦後から始まり、70年以上の歴史がある募金活動です。予め募金の目標額を決めて募金活動を行うことから「計画募金」と言われます。

皆様にご協力いただいた募金は、約70%が市内の地域福祉活動、約30%が県域の活動等に配分され、栃木県共同募金会による配分計画に基づき各施設・事業等へ配分されます。

○募金目安額：

1世帯あたり 700円

令和5年度日光市支会目標額：

15,626,000円

皆様のご協力をお願いいたします。

新採職員です!

日光市出身の3人がお届けする、自己紹介ページ

よろしく
お願いします



新採職員に9のインタビュー

- ①所属
- ②社協入職理由
- ③性格(他己紹介)
- ④好きな○○
- ⑤休日の過ごし方
- ⑥日光市の好きなところ
- ⑦好きな日光のグルメ
- ⑧今年度の目標
- ⑨地域の皆様へ

栃木県の
都道府県
コード9に
ちなんで!



おおもり みさと 大森 美里

- ①日光市生活相談支援センター
- ②私の祖母が普段から地域の方とのつながりを大切にしてきたことに影響を受け、大学では地域福祉について学びました。誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりのために、地域福祉に携われる社協で働きたいと思いました。
- ③常に視野が広く、頑張り屋さんです。(吉原)
- ④好きな言葉: 継続は力なり・日日是好日
- ⑤友達と会う・バドミントンのコーチング・ドライブ・映画鑑賞
- ⑥日光市の景色
- ⑦揚げゆばまんじゅう・日光人形焼「三猿」・ニルバーナ
- ⑧1日1つできることを増やす!
- ⑨生まれ育った日光市で地域の役に立てるように、自分にできることを精一杯やりたいと思います。よろしくお願いします!



よしはら けい 吉原 慶

- ①地域支援係
- ②生まれ育った日光市にどういった形で恩返しができるかを考えたとき、地域と密に関わりが持つ可能性のある仕事だと考えたからです。
- ③明るくポジティブで、慎重に物事を進められる人です。(大野)
- ④好きなアイドル: JO1です。佐藤景瑚くん推しです。
- ⑤カフェ巡り、部活動のコーチング、家の掃除、猫に遊ばれる
- ⑥大谷川公園です。いろいろな音が聞こえてきて心地良いです。
- ⑦翠園の青椒肉絲。めはマンゴープリンで決まりです。
- ⑧今年度はとにかくスポンジ。吸収する一年にしたいです。
- ⑨ここまで読んで下さりありがとうございます。ぜひ顔を覚えてください。



おおの まゆこ 大野 真由子

- ①総務企画係
- ②骨髄バンクを通して骨髄提供をした経験から、人の「生きる」を支える仕事のすばらしさを感じ、福祉に興味を持ちました。そして生まれ育った日光市の役に立つ仕事をしたいと考え、社協に入職しました。
- ③いつも冷静で、自分のペースを保てる人です。(大森)
- ④好きな場所: ディズニーリゾートパレードやショーが好きです。
- ⑤ドライブ、料理、友人とお出掛け
- ⑥水と空気が美味しいところ
- ⑦ニルバーナ、食堂ニジコのエビチャーハン
- ⑧社会人として、社協職員として、多くの知識を身に付けたいです。
- ⑨日光市の皆様と一緒に、日光市をよりよい街にしていきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。



スペシャルすまいる

No.71 2023.10.25

■編集・発行 / 社会福祉法人 日光市社会福祉協議会
〒321-2522 栃木県日光市鬼怒川温泉大原2-6
TEL 0288-25-3070 / FAX 0288-25-3075
ホームページアドレス <http://www.shakyo-nikko.or.jp>
印刷: (有)中津印刷所